

<県民の皆さまへのメッセージ>

新型コロナウイルス感染症は、全国では4月5日現在、3400人を超える感染者が確認され、都市部を中心に患者が急増しております。

福島県におきましても、3月31日からの6日間で新たに14例の陽性患者の発生が確認され、二次感染、三次感染が見られるほか、感染源が明らかではない事例が増加するなど、今後、急激に患者が増えることが危惧される非常に重要な局面にあります。

現時点では、新規の感染者数は一日あたり最大5名であり、未だ感染者が確認されていない地域もあることから、本県は4月1日に開催された国の専門家会議で示された「感染確認地域」にあたるかと考えておりますが、これまでに以上に、県民の皆さんと力を合わせて感染拡大防止に取り組む必要があると考えております。

このため、県民の皆様には改めて、次の3つについて御理解と御協力をお願いしたいと思います。

【1 感染症予防策の徹底について】

1点目は、感染症予防策の徹底についてです。

引き続き、咳エチケットや手洗いをはじめとした基本的な感染症対策を徹底していただくとともに、「密閉」「密集」「密接」の「3つの密」を避けるようお願いいたします。

特に、他県では病院や福祉施設などにおいてクラスターが発生し、規模が

拡大するケースが見られますので、こうした施設での一層の感染対策をお願いします。

【2 自らが感染源とならないような行動について】

2点目は自らが感染源とならない行動についてです。

新型コロナウイルスは、感染しても最大で14日程度の潜伏期間があると言われており、症状が出ない、又は軽い場合もあることから、気がつかないうちに感染を拡げていることが懸念されております。

本県でも二次感染、三次感染の事例が見られたように、自らが感染を拡大する原因となる可能性を十分に意識して、若い世代の方も含め3つの「密」を徹底的に避けるなど自らの行動を考えていただきたいと思えます。

自分を守ること、そして自分の大切な人を守る行動が社会を守ることにつながります。

更に、東京など感染が拡大している地域からの転入者や往来を行っていた方につきましては、健康管理に努め、少しでも症状があれば速やかに帰国者・接触者相談センターに連絡されるようお願いいたします。

これは、個人だけではなく、会社や学校などの御協力が是非とも必要となることから、御配慮をよろしくお願いいたします。

【3 感染者やその周辺への差別・偏見について】

3点目は、感染者やその周辺の方、職場、学校などに対する差別・偏見についてであります。

これまで、感染者が働いていた職場などにおいて嫌がらせや不当な対応が相次いでいるという報道があります。

県民の皆様にとっては不安や恐れのお気持ちがあるかと思いますが、原発事故による風評に苦しめられている福島県民だからこそ、新型コロナウイルスの陽性となった方やその関係者に対する差別や偏見は、なさないよう切に願います。

新型コロナウイルス感染症に関しましては、刻々と状況が変化しており、県としましては、状況に応じて柔軟かつ的確に対応するとともに、あらゆる施策を総動員し、強い決意で対策に取り組んでまいります。

今は、県民の皆さん1人1人の行動が必要とされており、また、企業、学校、団体、地域において、できる限りの取組が求められています。

全県一丸となってこの困難を乗り越えていけるよう、皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。

令和2年4月5日

福島県知事 内堀 雅雄